

# 12月の学校朝会から

## 情けは人の為ならず…

旧五千円札の肖像にもなった新渡戸稲造の詩の一節だそうです。

ほどこ なさ ひと ため なぐさ  
施せし情けは人の為ならず おのがこころの慰めとしれ  
わ ひと めぐみ わす おん なが わす  
我れ人にかけてし恵は忘れても ひとの恩をば長く忘るな



情けは他人のためでなく、自分のためにかかるもの、自分がした良いことは忘れても、人からしてもらったことは忘れてはいけません。



誰かのために働ける宮前小の児童は  
きっと何倍にもなってよいことが自分  
に返ってきます。

